

お客様の声

お客様が思わず人に自慢したくなる家！

今月も「炭の家」にお住まいのお客様から沢山の声が届きました！



マンションで、炭の効果に着目した貴社の事を数々の人に
知らせたが、知らない人も多かったので熱心に回っています。
このまま快適な状態の毎日を楽しんで家を訪ねてくる人
には炭の効果をぜひ伝えてほしいです。
熱心に「売って、くれ」貴社の営業マン様様に
家族一同感謝しております。お取引の進展をお祈り申し上げます。

観葉植物の育ちが良くなった。
マンションの時はあまり大きくならなかったが、こちらに引っ越したら
次々と葉が出てきておどろいています。



引越し当初のころ 1年後に再訪問

お知らせ

見学会 炭の家を見に行こう！



北海道
札幌市内見学ツアー



当社は、定期的に「炭の家」札幌見学ツアーを企画、開催しています。
湿度も少なく快適な北海道の夏空のもと「炭の家」を体感してみませんか？
現在、9月の開催にあたり参加ご希望日を受付けております。
詳しくは同封いたしました別紙をご参照のうえ、お電話かFAXにてお申し込み下さい。
尚、ご不明な点などございましたらお気軽にお問い合わせ下さい。
皆様のご参加心よりお待ちしております。



SUMI-炭-
TIME

VOL.
03
2009 AUG.
スマタイム



セミナー開催のお知らせ 苦境を乗り越える突破力！北関東エリアセミナー！

■宇都宮会場	■水戸会場
日時：平成21年9月8日(火)9日(水) 14:00~17:00	日時：平成21年9月29日(火)30日(水) 14:00~17:00
会場：栃木県教育会館2階 小会議室 栃木県宇都宮市駒生1丁目1-26	会場：中央ビル8階 会議室C 茨城県水戸市泉町2-3-2

その他にも全国各地での説明会やセミナーを計画中。 ※「個別出張セミナー」も承っておりますのでご希望の方は、下記までご連絡下さい。

■「炭タイム」発刊のご挨拶■

今年は全国的にお天気が不安定な夏が続いておりますが皆様の地域ではいかがでしょうか？

いつもはさわやかな7月をむかえる北海道も気温が上がらず、雨ばかりで気分も滅入ってしまいます。

さて、炭タイムもはや第3号になり作業も幾分慣れてきました。内容もより一層吟味し少しでも皆様のお役に立つ情報を発信していきたいと思っています。

明るい話題の乏しい昨今ですが、前向きな気持ちを忘れずこの時流の波を乗り切るためのお力になれればと考えています。



(株)ホーム企画センター
フロンティア事業部長 古川 秀彦

炭の家・探検隊

地球環境を守ることは今では広く認知され誰もが無視できない人類の一大関心事となつてまいりました。

生活が便利になっていく中で、私達の暮らしはとて豊かになりましたが、すべての地球環境が健全に保たれてこそ安心して健康に暮らしてゆけるのです。この環境がなくなったとしたら、私たちは生きて行けるでしょうか。いや生きてゆく事はきっと困難になるでしょう。

そのためにも地球環境はこれ以上破壊してはいけないし、もっと資源を大切に利用しなければならないことは言うまでもありません。

世界の陸地のうち1/4は森林です。豊かな森林は、空気をつくり、水を蓄え、土を作ります。しかしその森林もあと100年で無くなるという報告があります。森林が無くなれば地球上のあらゆる生物は、絶滅してしまうかもしれません。森林破壊は、環境問題としてこれからの世に大きな問題としてのしかかってゆく事でしょう。森林保護は環境を守る上で重要な問題です。

それでは、炭の家に欠かせない「炭」と環境問題との関わりはどうでしょうか？

炭作りは環境破壊？

いいえ、それどころか森を育み、環境を守ることになるのです。

確かに炭を作るのに木をたくさん伐採しますが、木は手入れをしないで長い年月を経ると再生能力が低下し、やがて森は死んで行きます。

木炭の原料になる木々は再生能力に優れているので、一定のサイクルで伐ると新芽を出し20~25年で元気な森に生まれ変わります。

また、竹の場合はイネ科で成長がとても速いので(4年で20mの高さになる)放っておくと、他の樹木が日光を遮られるようになります。更に今まで樹木が得ていた養分を竹が奪いだし、やがて森が荒廃してしまいます。

こういう理由から、妥当な間隔で木や竹を伐採する事は森林資源のサイクルをサポートするために大切な事なのです。



炭を作る時ダイオキシンが発生するのでは？

炭は高温で焼いて作られるのでダイオキシン発生への心配はあまりありません。

ダイオキシンは紙を燃やしただけでも発生しますが、結局のところ大きな原因は燃焼温度と排煙の温度です。

ダイオキシンは200℃位で焼いている時に一番発生するようですが、炭は初期段階では低温で焼くのでダイオキシンの発生が少なく、最終段階で1000℃位の高温(白炭の場合。黒炭は400~800℃)で焼くためダイオキシン類が分解されます。

炭を作るために約20キログラムの木材を燃やして出来るダイオキシンとたばこ1箱と比べれば、たばこよりだいぶ少ないと言われています。

また、炭焼きの煙は、竹や木の乾留(※)による煙ですのでダイオキシン類とはあまり関係がありません。さらに、炭焼きの際に出来た灰はアルカリ性を示し、田畑に撒いてやれば酸性化した土壌は中性化し、また出来た木酢液を土に撒けば、ミネラル分が溶けだし土壌を良好させるのです。

(※)乾留とは空気を絶って木材などを強熱し揮発性の部分と不揮発性の部分に分けること。蒸し焼きともいう。



導入店様ご紹介

(株)サンエービルド工業

今回は、北海道の導入店サンエービルド工業様をご紹介させていただきます。まずは概要から。

■会社名 (株)サンエービルド工業 サンエーホーム

■代表 代表取締役 浅田 正俊

■住所 北海道富良野市栄町19-2

■「炭の家」導入年月日 平成20年12月1日

■会社沿革

昭和17年 佐藤組として創業

昭和54年 サンエーホームとして住宅部門を開設

平成4年 株式会社サンエービルド工業に社名を変更

平成10年 ACT(アクト)工法の導入

平成14年 外断熱工法の開発と導入

平成15年 国際規格「ISO9001」の認証取得

平成20年 「炭の家」特許実施権を取得

平成21年 サンエーホーム30周年

グリーンコート新光に特許「炭の家」発表

「炭の家」は好評で導入から現在までに9棟の受注実績！

■ホームページ→<http://www.sane-build.jp/index.html>

【高品質な住宅は海外にも】

富良野市は道内でも寒さの厳しい地域。冬はマイナス20℃、30℃は当たり前。そんな厳寒の地で求められる住宅は、隙間風の入らない暖かい住宅です。

地域特性を考え、気密性や耐久性を追求し、皆様に安心と快適を与える住宅として2×4工法を標準採用しています。またより高い断熱性を求めるために「内外両面断熱工法」を採用。基礎を含めた構造体全体を硬質断熱ボードで包み、高気密・高断熱を実現しています。

富良野市は海外の方の別荘地としても需要が多く、サンエーホームでも専属のチームとして国際課を設け、日本特有の素材を使い、日本的な空間デザインを要望される外国の方にも対応しています。

これからは「炭の家」が健康趣向な海外の施主様にたくさん紹介される事は間違いなし。

将来「炭の家」が海外でも高く評価される日がひょっとしてあるかもしれませんね。



【浅田社長談】

当社サンエーホームは、おかげ様で30周年を迎えることが出来ました。昭和54年に住宅部門をサンエーホームとして出発してから様々な新技術や新工法を積極的に取り入れてきました。まさに試行錯誤の連続でしたが現在では耐震性、断熱性に優れた工法である2×4+両面断熱工法を確立する事が出来ました。さらに、今住宅業界でも注目されている「炭の家」の特許実施権を昨年取得致しました。私共はこのお客様の健康を守る素晴らしい住宅と共に時代変化に対応したサービスと技術を提供しながら新たな一歩を踏み出したいと思っております。衣・食・住の「住(住まい)」に貢献できる企業を目指し、今までも、これからも、お客様第一主義をモットーに努めて参ります。



【取締役営業部長 岡田様談】

寒い地域と言う事もあり、結露が無く丈夫で暖かい家をモットーに住宅のご相談に乗って参りました。今までの家づくりにも自信を持っていたのですが、「炭の家」を提供するようになって今まで以上に納得した事がありました。今までは第三種換気(自然給気強制排気型)でしたが、「炭の家」はその逆で、第二種換気(強制給気自然排気型)です。気密性能の非常に高い私共の住宅では、強制排気をすると室内が負圧になり、玄関ドアや窓がとて開けにくい欠点がありました。しかし「炭の家」は押し込み型の換気なので室内が正圧になり、玄関ドアや窓の開けにくかった悩みを一発で解消してくれました。これにはなるほどと納得しました。これは一例ですが、お客様が健康で快適に暮らせる家を提案できることにより喜びを感じております。営業実績も4月から6件の受注をしましたが、現在、商談中のお客様にもこの「炭の家」の良さ、空気環境の重要性を伝えていきたいと考えています。